

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スマイルシード恒久		公表日		2026年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・基準にもなっていない使用できている。 ・安全に使えるよう工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・子ども一人ひとりに目をむけてあげられる人数配置が良い。 ・基準にもなっていない使用できている。 ・毎日適切に確認している。 ・子供一人ひとりに目をむけてあげられる人数配置が良い。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・トイレが一つしかないので込み合うことが多い。 ・ホワイトボード等可視化されている。 ・バリアフリー化はされていないが、該当する利用はない為、現時点では必要ないと感じる。	・今後必要に応じてバリアフリー化の検討も行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・お子様の来所前後に環境整備(消毒等)を行い、危険な物が落ちていないかの確認を行っている。 ・消毒等を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・必要に応じて個別での部屋を使用出来ていることを配慮し対応している。 ・個別で話すスペースがある。 ・クールダウンの場所が事務所になっているので、あと1部屋あると良いと感じる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・上手く連携をとりあっている。 ・話し合いの機会が多々ある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様からいただいた意見を職員間で共有し、支援に繋げている。 ・送迎時や面談にて情報共有を行い、保護者の意向を把握するように努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・月に一度スタッフ全員でのミーティングを実施し、意見を出し合い業務改善に活かしている。 ・日々意見を出し合い事ができている。 ・日々のコミュニケーションの中で、出来ていると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・第三者委員会は設置されている。第三者委員会に対する苦情もない。 ・第三者による外部評価が必要な場面で活用し、業務改善に繋げていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修を受けた職員による伝達研修を行うことで知識や情報の共有を図っている。 ・全体会議、ミーティング等事業所内ではなく法人全体で研修を行いますスキルアップに繋げている。 ・定期的に研修がある。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPに公表し、保護者にも知らせています。職員全員で支援プログラムについて考え作成しています。 ・話し合い、作成されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		見学や体験時、その他の時間の中で聞き取りを行い、内容に反映し作成している。 ・話し合い、作成されている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・職員全員で会議を行い、意見を出し合いながら作成している。 ・お子様に関わる職員が意見を出し合い、1人1人に合った支援計画を作成しています。 ・話し合い、作成されている。 ・必ず策定会議をおこない、全員の意見を取り入れて作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・関わる職員が一人ひとりに合ったお子様に療育に繋がるように、具体的なアセスメントを活用しながら最適な療育を提供しています。 ・話し合い、作成されている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日常の利用状況から小さな変化も伝え合い正確なアセスメントが作成できるようにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・会議の場を設けている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・定期的に見直ししている。 ・飽きないように活動内容、子どもたちが楽しめるような内容を行い固定化しない工夫をしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・話し合いよく計画されている ・朝礼などでその日の支援の流れを行いチームで連携して支援を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・終礼で1日の振り返りと情報共有を行い次の支援に活かせるようにしている ・朝礼・終礼を通じて支援の振り返りや打ち合わせを必ず行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			・細やかに記録を残している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			「自己決定支援」を行い子ども自身で
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			・お便りだけでなく電話でも確認することがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		・研修時には積極的に参加している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			・他事業所との交流の場がある。 ・近所の公園で地域の子ども達と一緒に遊んだりすることで交流の機会を設けている。 ・児童クラブ、児童館との交流のアプローチを行っていますが、怪我等の懸念から実施することが難しいです。事業所主体のイベント開催にて、地域のお子様との交流の機会を設けています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			・子ども支援部会
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・イベントを開催し、相談会としての支援を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・事業所内でのイベントに参加型自由での開催を行っています。	今後、長期休暇などを利用し、事業所外にて開催を予定しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情を受けたことがない為、引き続きゼロを目指して参ります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			・年に一度のもちつき大会や、バーベキューでの開催を行っている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			該当見なし
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			該当見なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			研修に参加
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止の研修に参加
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			身体拘束の研修に参加	